

**ICクレジットカードに関する調査**  
**【結果報告書】**

2007年11月

日本クレジットカード協会

**JCCA**

---

# 目次

---

調査概要	1
調査結果(総括)	3
調査結果の各論	
. 回答者属性	
1. クレジットカードの利用状況	5
. クレジットカードの安全性への意識	
1. クレジットカードの安全性への不満、売上票	6
. ICクレジットカードの認知・所有状況	
1. ICクレジットカードの認知	7
2. ICクレジットカードの暗証番号利用に関する認知	8
3. ICクレジットカードのサイン利用に関する認知	9
4. ICクレジットカードの端末に関する認知	10
5. クレジットカード業界の動きに関する認知	11
6. ICクレジットカードの所有	12
7. クレジットカードの利用目的	13
8. クレジットカードの利用理由	14
9. ICクレジットカードの所有枚数・利用状況	15
. ICクレジットカードの暗証番号	
1. 暗証番号の記憶と照会方法について	16
2. 暗証番号の入力について	17
. ICクレジットカードの利用意向	
1. 今後のクレジットカードの利用意向	20
2. ICクレジットカードを選ぶ理由	22
3. ICクレジットカードの利用意向場面・目的	24

## 調査概要

- 【調査目的】 クレジットカードの安全性に対する消費者の意識、ICクレジットカードの知識を把握するため
- 【調査対象】 20歳～69歳の男女(クレジットカード保有者のみ)
- 【調査地域】 全国
- 【調査方法】 インターネット調査
- 【抽出方法】 調査会社インターネットモニターより性・年代ごとに無作為抽出  
各性・年代のサンプル数が均等になるようにサンプルを割り当てた

### < 回収サンプルの内訳 >

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳
男性	39	75	92	102	96
女性	58	73	85	75	85

注)実際の集計にあたっては、上記の各性・年代のサンプル数が均等になるように、ウエイト付け集計を行った。

- 【サンプル数】 設定 2000サンプル  
回収 780サンプル (回収率 39.0%)
- 【調査時期】 2007年7月26日(木)～8月1日(水)
- 【調査主体】 日本クレジットカード協会
- 【調査実施機関】 株式会社日経リサーチ

## 調査結果(総括)

---

## 調査結果(総括)

---

### 【ICクレジットカードに対する認知】

ICクレジットカードの認知状況は、「内容まで知っている」もしくは「聞いたことがある」を合わせると9割を超え、すでにその存在は広く浸透している。その内訳をみると、「内容まで知っている」人の割合は42%で前回(06年)調査の37%より5ポイント上昇しており、内容の認知が広がっていることが読み取れる。<クレジットカード業界全体として順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる>ことについては、全体の62%が認知している。クレジットカードの利用頻度が高いほど「内容まで知っている」割合が高まり、ヘビーユーザーの間では、サービスの内容の理解度も高い。ICクレジットカードの現在の所有率は61%で、前回(47%)より14ポイント上昇しており、認知だけでなく、実際に所有する人も確実に増加している。

### 【暗証番号について】

ICクレジットカードにて暗証番号の入力を求められたことのある人に対して<暗証番号の入力をよく求められるか>との問いには、「よく求められるようになった」が55%で、前回(37%)を18ポイント上回り、入力の機会が増えていることがわかる。

<ICクレジットカード対応端末設置加盟店では、原則サインの代わりに暗証番号入力で利用できる>ことに対する認知度は、前回(50%)を上回る56%に高まっている。店頭での暗証番号入力を面倒と感じたことはないという回答が7割を超え、面倒と感じたことがある人でも8割強が暗証番号入力を「安全性を重視すると必要だと思う」と回答しており、安全性に対する意識の高さがうかがえる。

### 【利用意向】

今後の利用意向については、ICクレジットカード支持者が前回同様92%と大勢を占め、従来式(磁気)支持者は1割未満であった。その理由としては、「偽造される心配がない」(65%)との回答が最も多く、次いで「暗証番号が必要なので他人に使われる心配が少ない」(60%)があげられた。性別、年齢、クレジットカードの利用頻度を問わず圧倒的にICクレジットカードが支持されており、ICクレジットカードへの切り替えを進めることに抵抗を感じる人は少ないといえる。

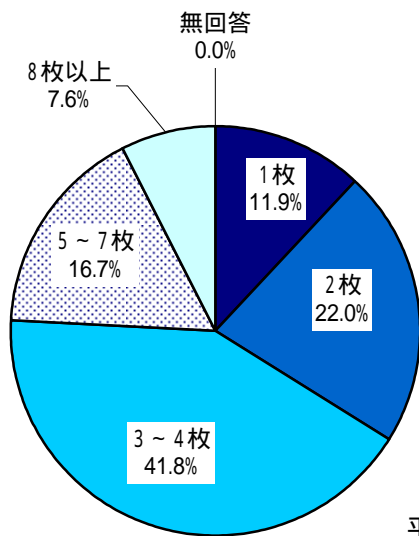
対する従来式(磁気)支持者に対し、<どんな条件が整えばICクレジットカードを利用したいと思うか>たずねたところ、「本人の確認が暗証番号の入力ではなくサインなら」(37%)との回答が最多で、「IC機能が利用できる端末が普及したら」(32%)を上回る結果となり、今後一層の利用拡大には、端末の普及とともに、暗証番号入力取引のサイン取引に対する優位性を周知させることが、ICクレジットカードの今後の課題であるといえる。

(主な調査結果については、次ページ以降をご参照下さい)

## 調査結果の各論

Q2. あなたは現在クレジットカードを合計で何枚持っていますか。(ひとつだけ)

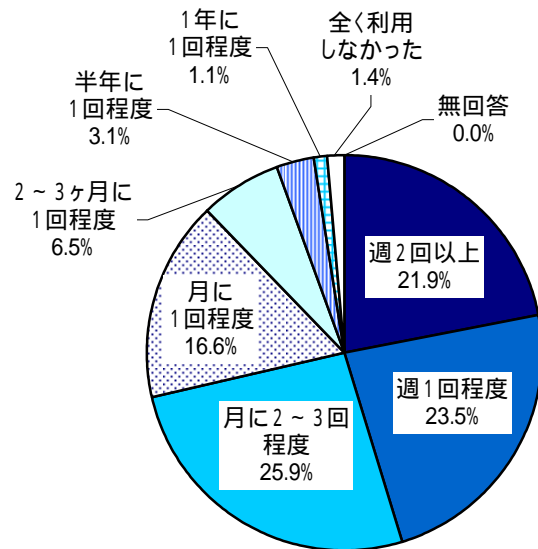
(N=780)



平均 3.8枚

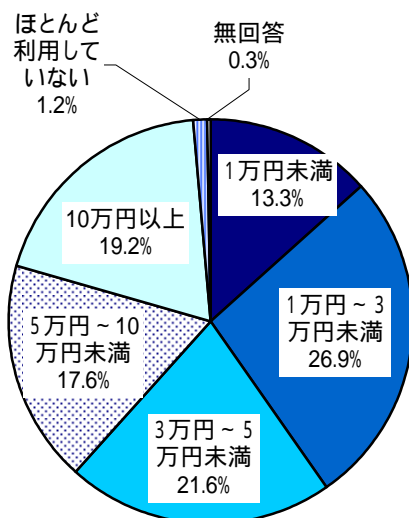
Q4. 最近一年間で、あなたはどのくらいの頻度でクレジットカードを利用しましたか。(ひとつだけ)

(N=780)



Q5. (Q4で「全く利用しなかった」以外をお答えの方に) 最近一年間で、あなたは月平均いくらくらいクレジットカードを利用しましたか。(ひとつだけ)

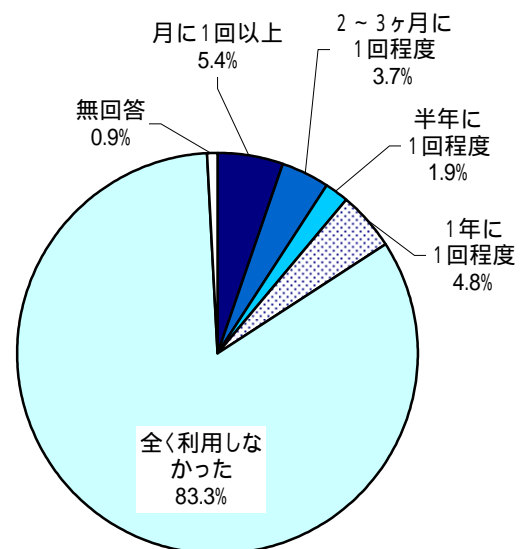
(n=769)



平均 5.1万円

Q6. (Q4で「全く利用しなかった」以外をお答えの方に) 最近一年間で、あなたはどのくらいの頻度でキャッシング機能を利用しましたか。(ひとつだけ)

(n=769)



# クレジットカードの安全性への意識

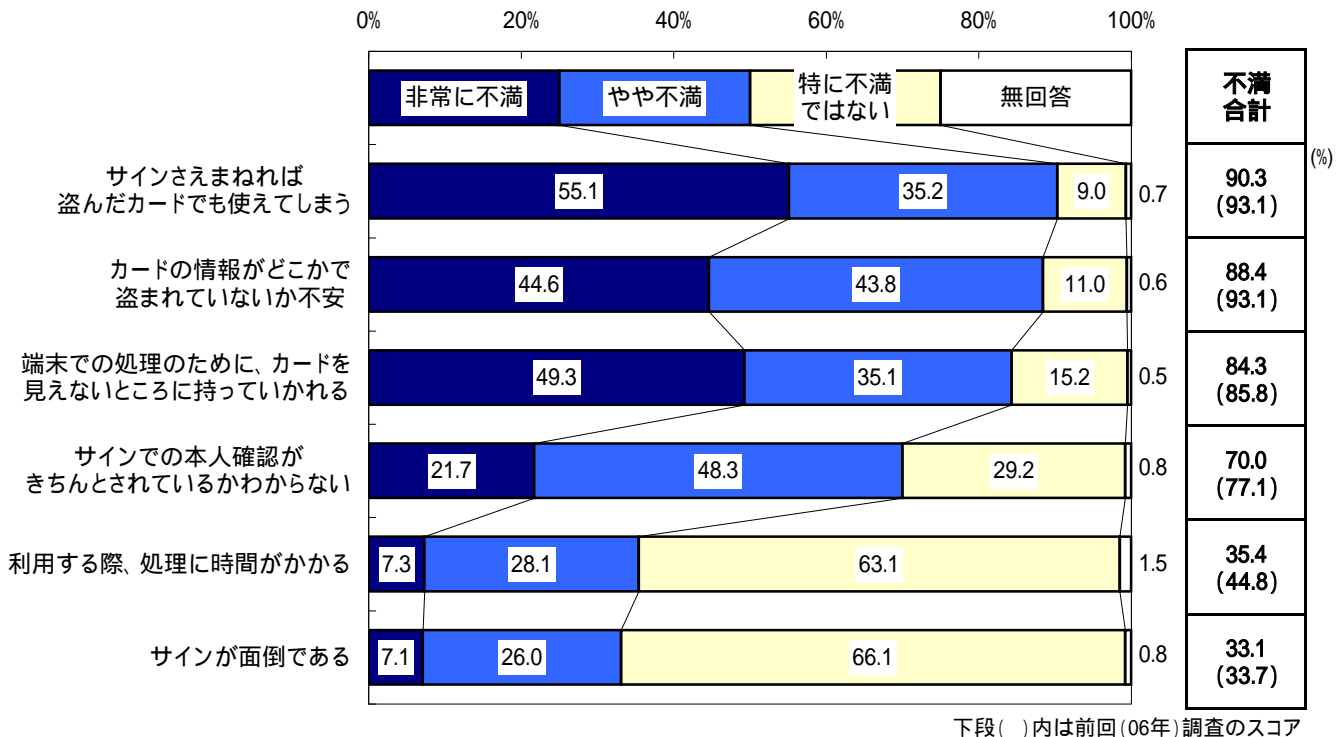
## 1. クレジットカードの安全性への不満、売上票

クレジットカードの利便性、安全性に対する不満点をたずねた。

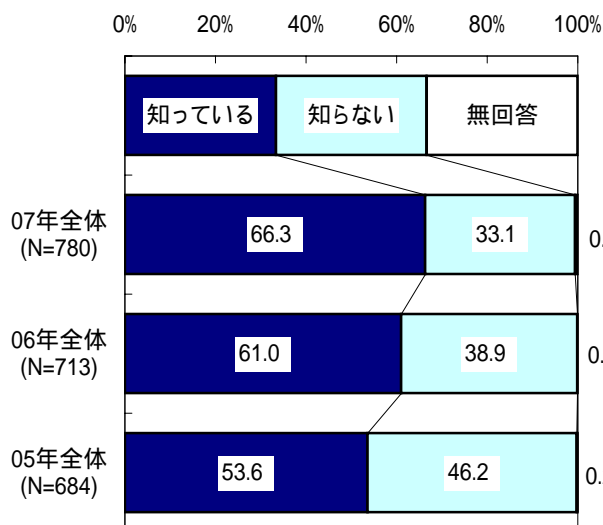
不満度(非常に不満+やや不満)が最も高い項目は、『サインさえまねれば盗んだカードでも使えてしまう』(90%)で、回答者の半数以上が『非常に不満』。次いで『カードの情報がどこかで盗まれていないか不安』(88%)、『端末での処理のために、カードを見えないところに持っていかれる』(84%)の順。

売上票に記載されるクレジットカード番号が省略されるようになってきたことを『知っている』のは66%で前回は5ポイント上回り、認知度は上昇しているといえる。また、カード番号の省略に対しては93%が『よいと思う』と回答しており、前年に続き評価は高い。

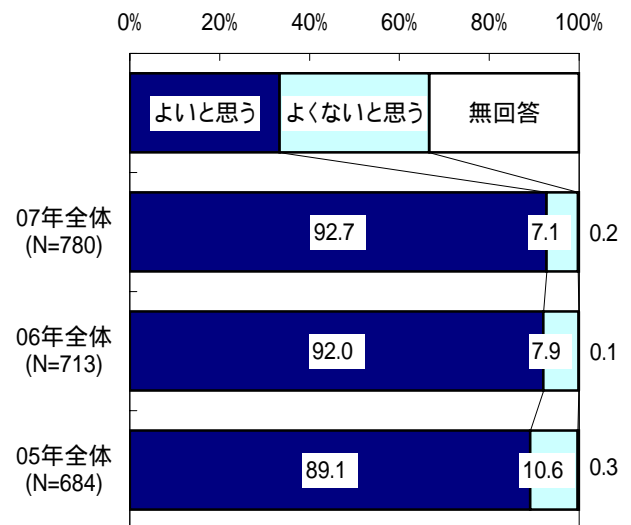
Q10. あなたは、クレジットカードの利便性、安全性に関する以下の点について、どの程度不満に思いますか。  
(N=780) (それぞれひとつずつ)



Q25. あなたは最近、売上票(お客様控え)に記載されるクレジットカードの番号が一部省略されるようになってきたことをご存知ですか。(ひとつだけ)



Q26. あなたは、売上票(お客様控え)のカード番号が省略されていることについてどう思いますか。(ひとつだけ)





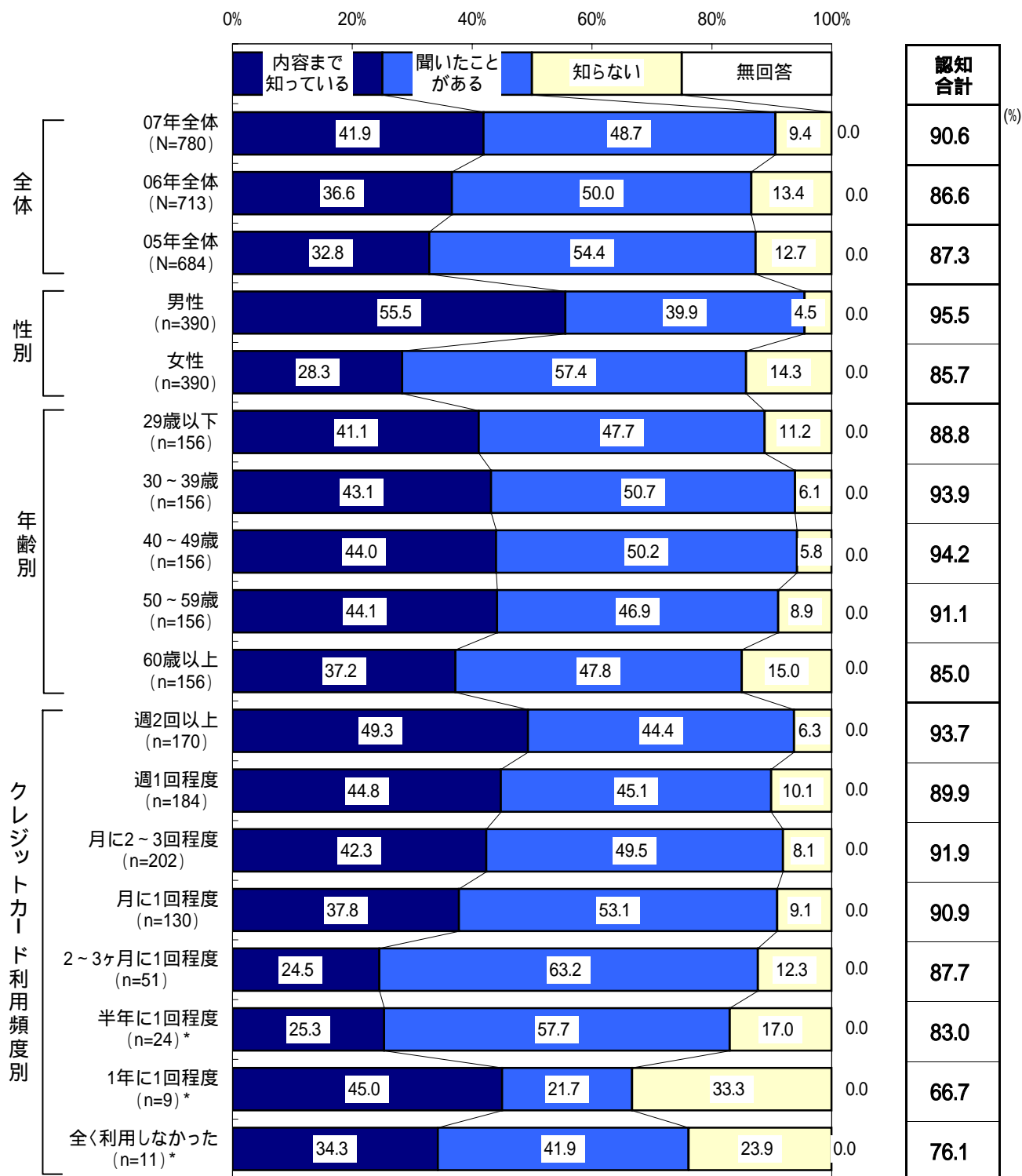
ICクレジットカードについて、「内容まで知っている」「聞いたことがある」を合わせた認知度は91%にのぼる。内訳をみると、「内容まで知っている」は42%と前回は5ポイント上回り、内容の認知が高まっている。

男性は9割強が認知しており、「内容まで知っている」(56%)割合は女性(28%)を大きく上回る。

年齢別では、60歳未満の認知度が9割前後に達する。

クレジットカード利用頻度別では、利用頻度が高いほど「内容まで知っている」割合が高まり、週2回以上の高頻度利用層ではほぼ半数にのぼる。ヘビーユーザーの間では、サービス内容の理解度も高いことがわかる。

Q12. あなたは、「ICクレジットカード」についてご存知でしたか。(ひとつだけ)



\* サンプルが少ないため、参考値

# . ICクレジットカードの認知・所有状況 2. ICクレジットカードの暗証番号利用に関する認知

ICクレジットカードの利用方法や現状についての認知状況を調べた。

まず、<ICクレジットカード対応端末設置加盟店では、原則サインの代わりに暗証番号入力で利用できる>について、全体の56%が「知っている」と回答しており、前回に比べ6ポイント上昇した。

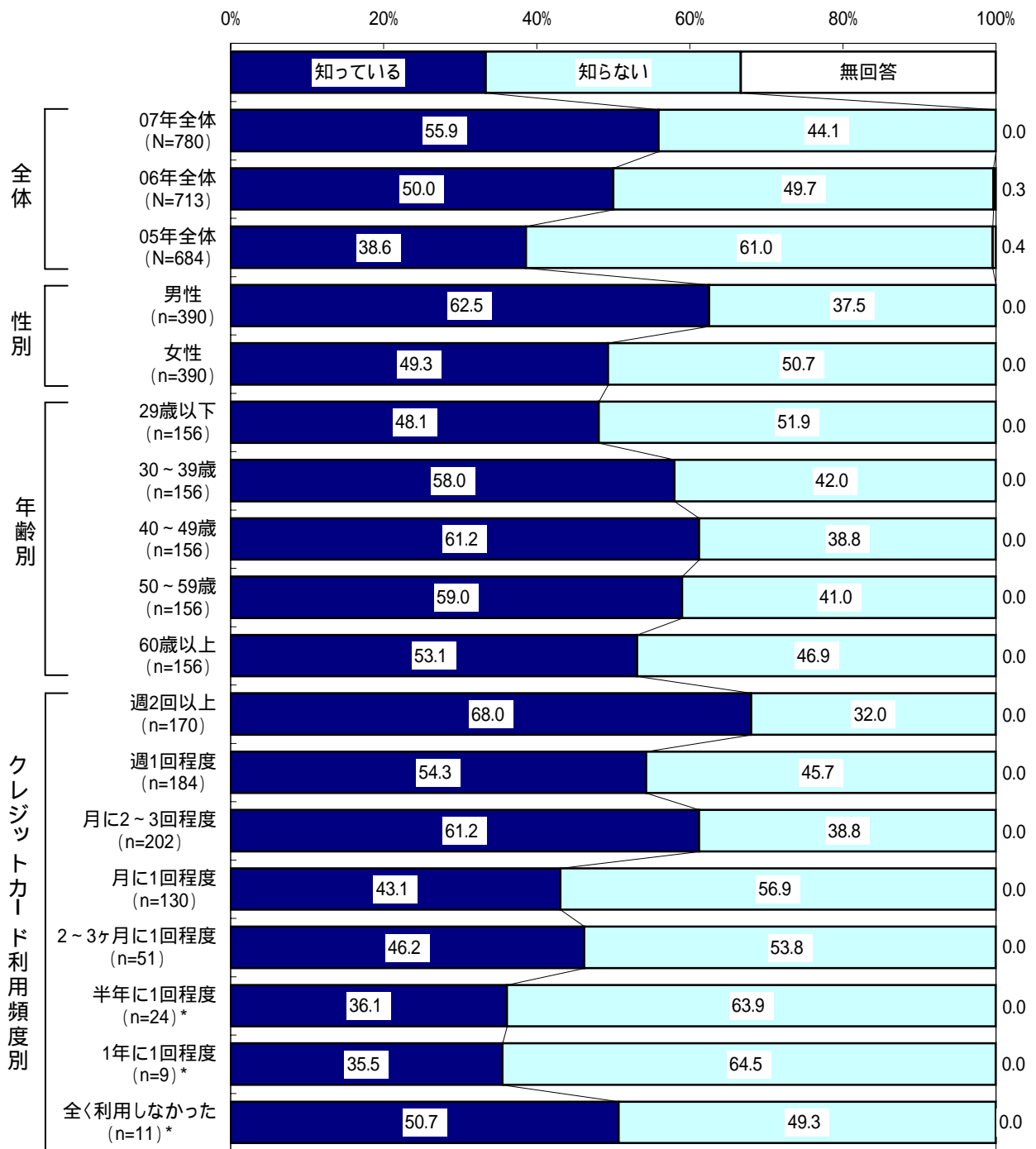
男性は認知度が6割を超え、女性を13ポイント上回る。

年齢別では、ICクレジットカード所有率の高い30代～50代の認知度が6割前後と高い。( -6参照)

クレジットカード利用頻度別では、週2回以上の利用頻度の高い層の認知度が7割と高い。

Q13. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

1. ICクレジットカード対応端末設置加盟店では、原則サインの代わりに暗証番号入力で利用できる



\* サンプルが少ないため、参考値

<ICクレジットカード未対応の端末では、従来通りサインをすることで利用できる>ことを「知っている」のは全体の57%で、前回に比べ8ポイント上昇。

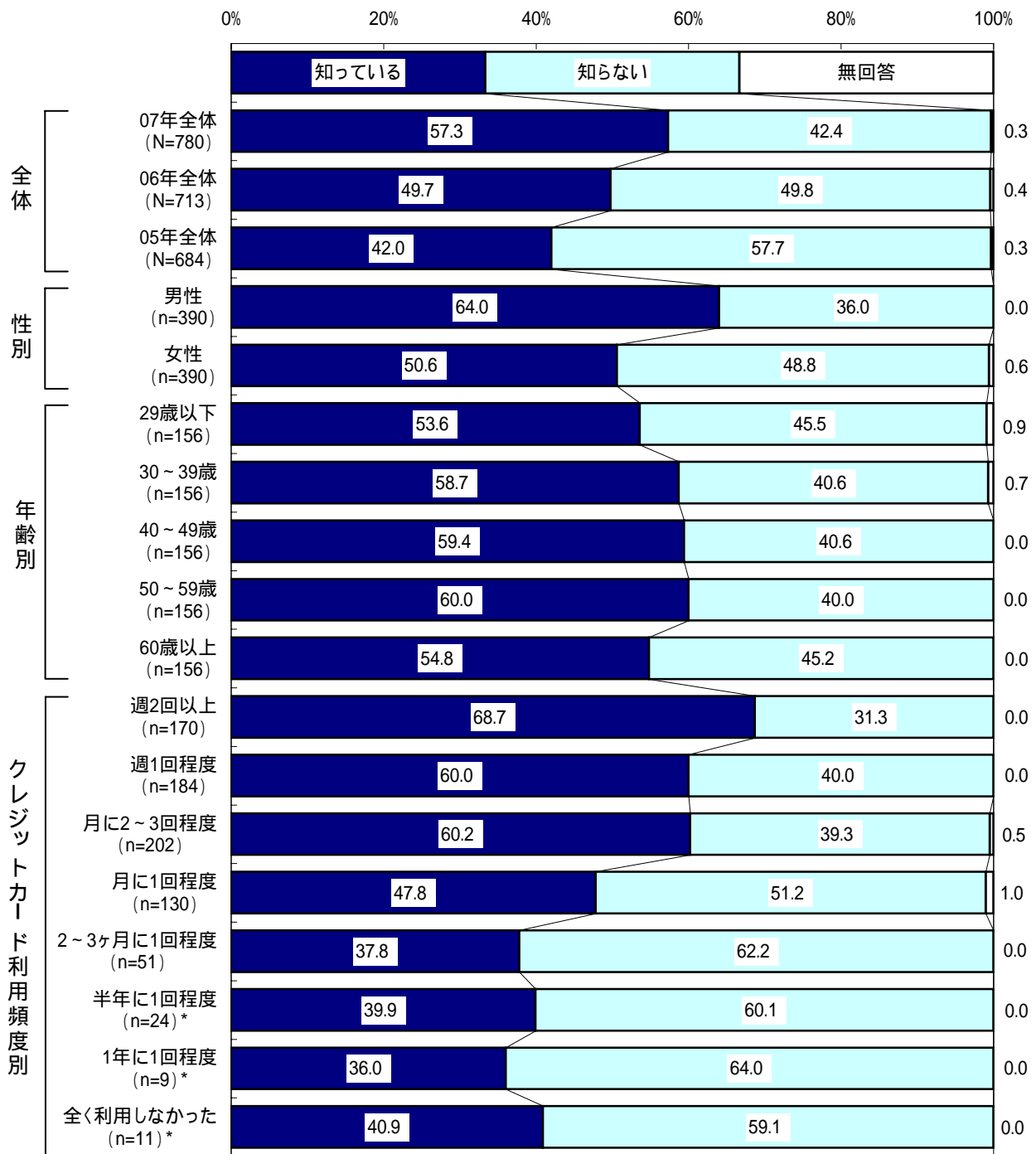
男性は認知度が6割を超え、女性を13ポイント上回る。

年齢別では、ICクレジットカード所有率の高い30代～50代の認知度が6割前後と高い。( -6参照)

クレジットカード利用頻度別では、月に2～3回程度、週1回程度の利用層の認知度が6割、週2回以上の利用層の認知度が約7割と高い。

Q13. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

2.ICクレジットカード未対応の端末では、従来通りサインをすることで利用できる

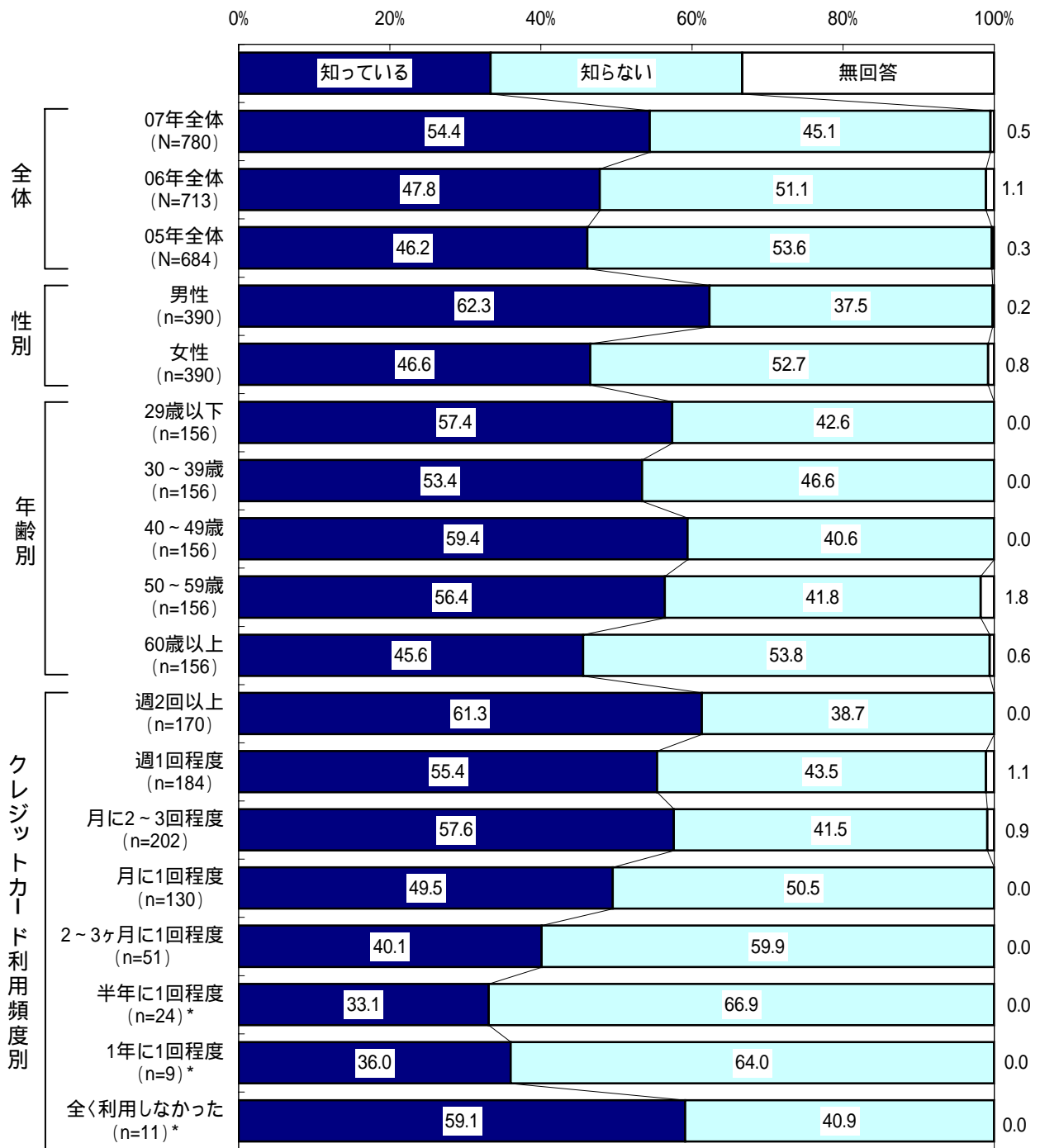


\* サンプルが少ないため、参考値

<ICクレジットカードに対応していない端末もある>の認知度は全体で54%と、前回より7ポイント上昇。  
 男性は認知度が6割を超え、女性を16ポイント上回る。  
 年齢別では、60歳未満の認知度が半数を超えており、20代、40代では6割弱と認知度が高い。  
 クレジットカード利用頻度別では、週2回以上の利用頻度の高い層の認知度が6割強と高い。

Q13. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

3.ICクレジットカードに対応していない端末もある

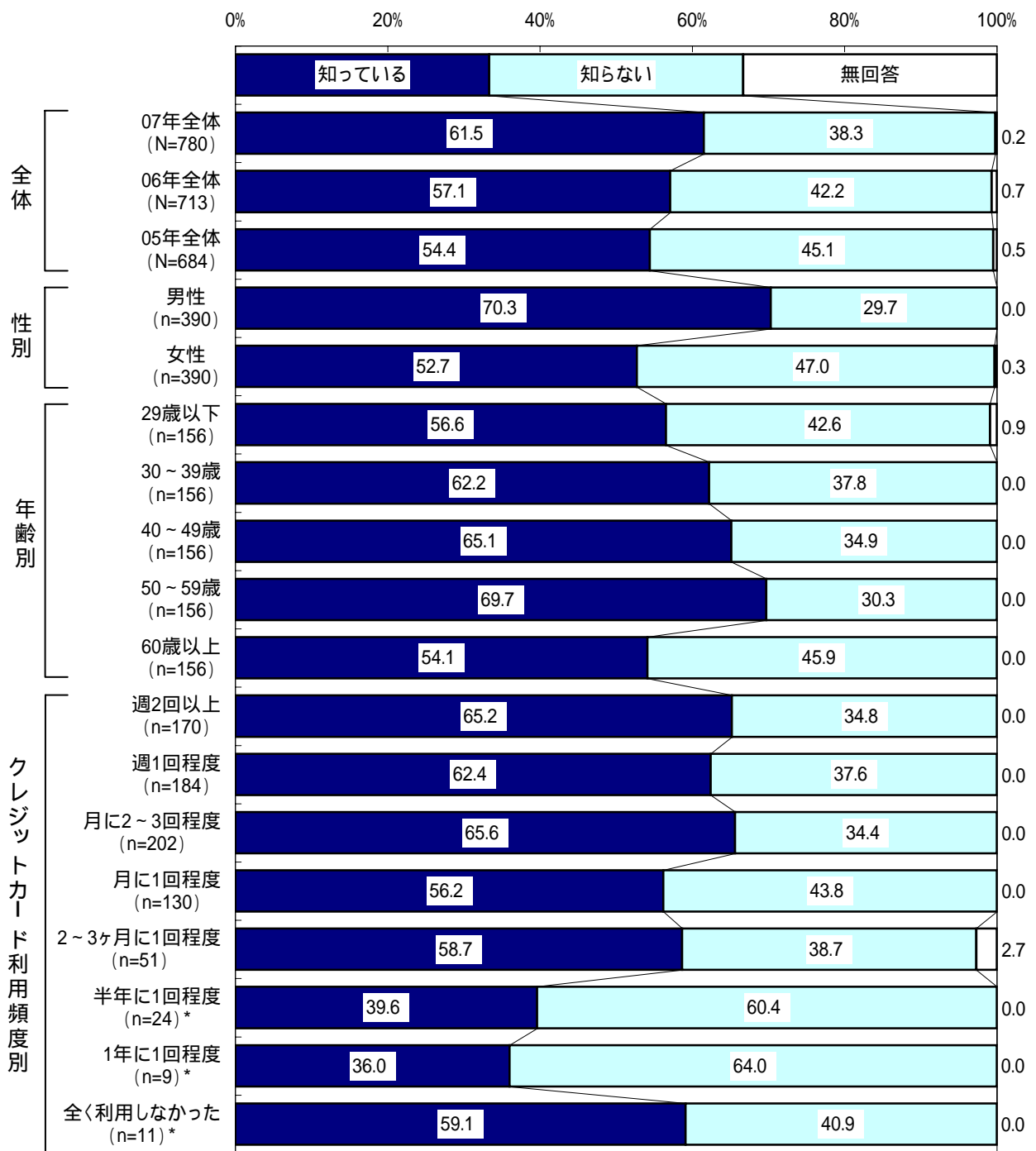


\* サンプルが少ないため、参考値  
 前々回(05年)調査は「現段階では、まだICクレジットカードに対応していない端末も多い」で測定

<クレジットカード業界全体として順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる>の認知度は全体の62%で、前回は4ポイント上回る。  
 男性は認知度が7割と高く、女性を18ポイント上回る。  
 年齢別で見ると、60歳未満の認知度は年齢の上昇とともに高まり、50代では7割にのぼる。  
 クレジットカード利用頻度別では、月に2~3回程度以上の利用層で認知度が6割を超える。

Q13. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

4. クレジットカード業界全体として順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる



\* サンプルが少ないため、参考値

前々回(05年)調査は「銀行系カード会社を中心に、順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる」で測定

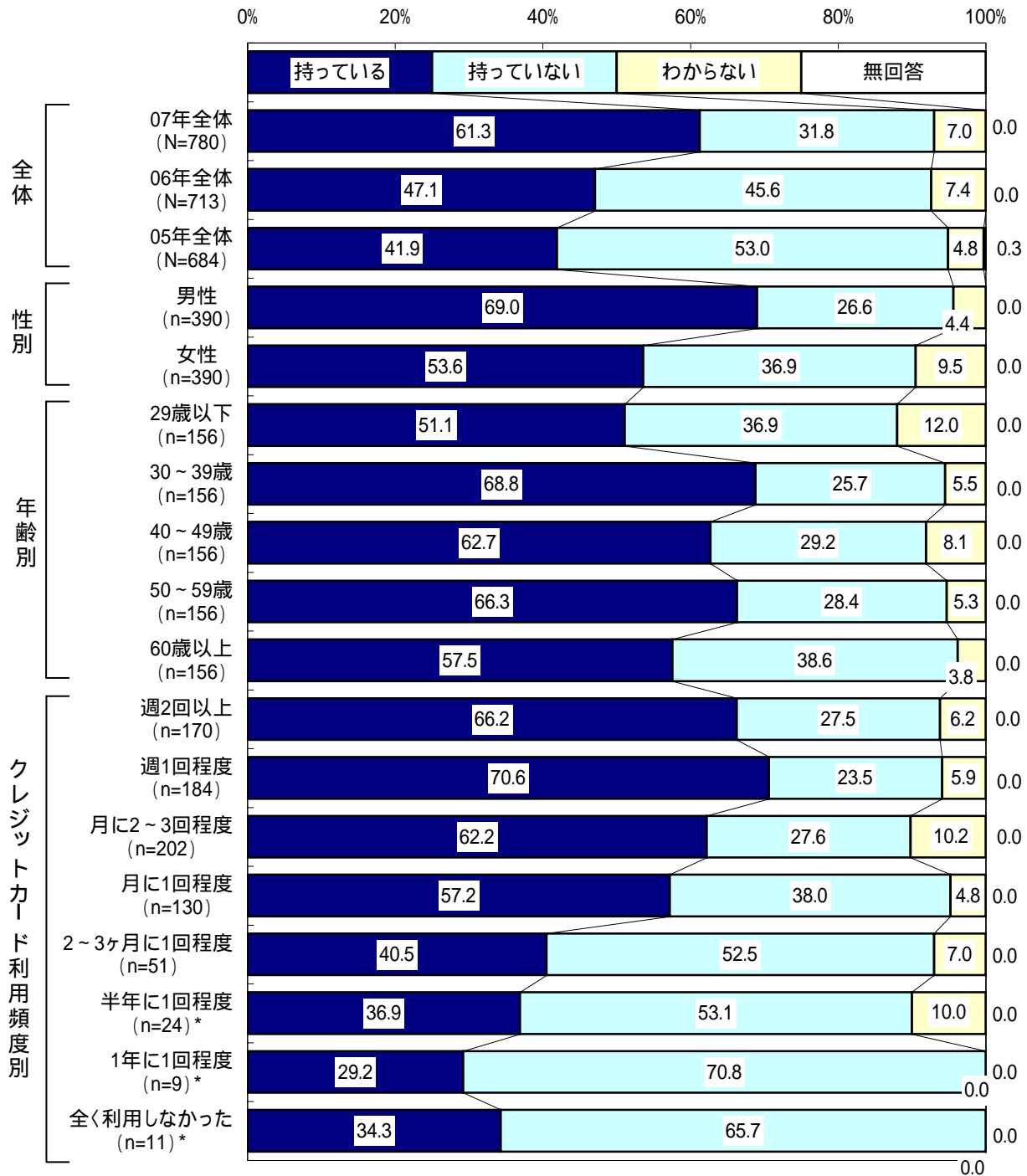
ICクレジットカードを「持っている」のは全体の61%。前回は14ポイント上回っており、所有率は大きく上昇した。

男性は所有率が約7割と高く、女性(54%)を15ポイント上回る。

年齢別では、30代～50代の所有率が6割を超え、中でも30代では7割近くにのぼる。

クレジットカード利用頻度別で見ると、利用頻度が高くなるにつれ所有率も上がる傾向がみられるが、最も高い利用層は週1回程度の利用層で71%。

Q14. あなたは、「ICクレジットカード」をお持ちですか。(ひとつだけ)

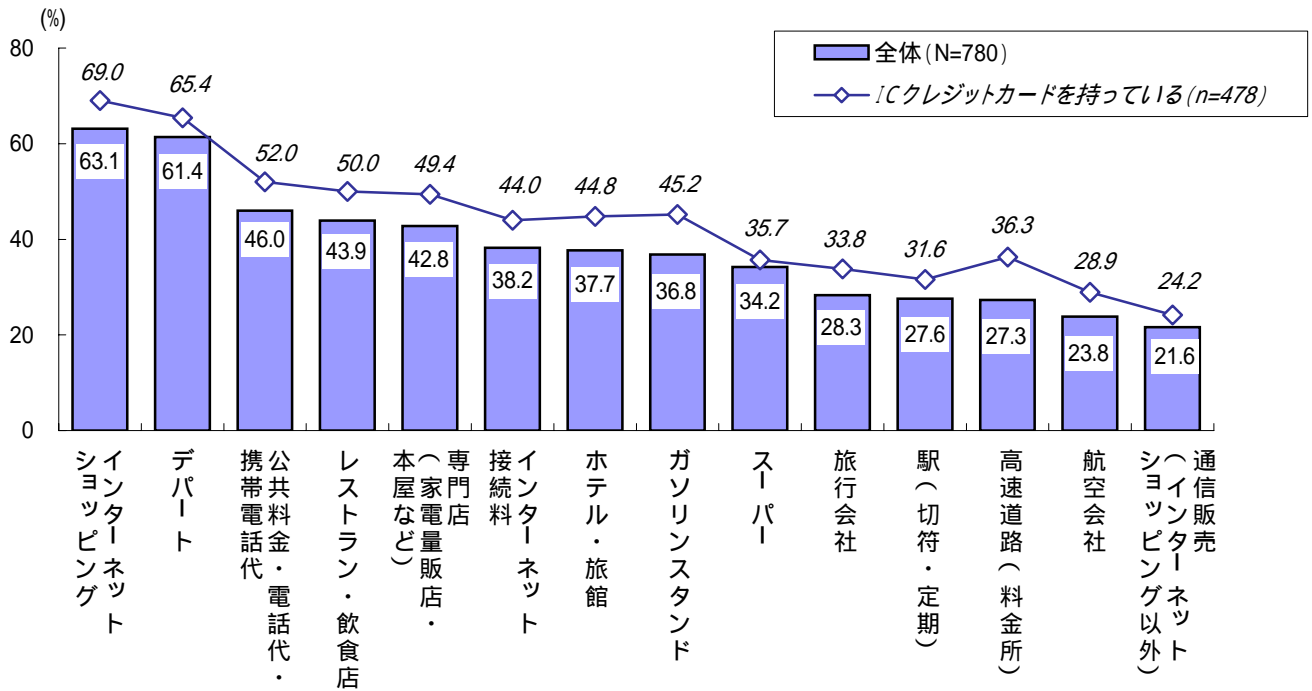


\* サンプルが少ないため、参考値

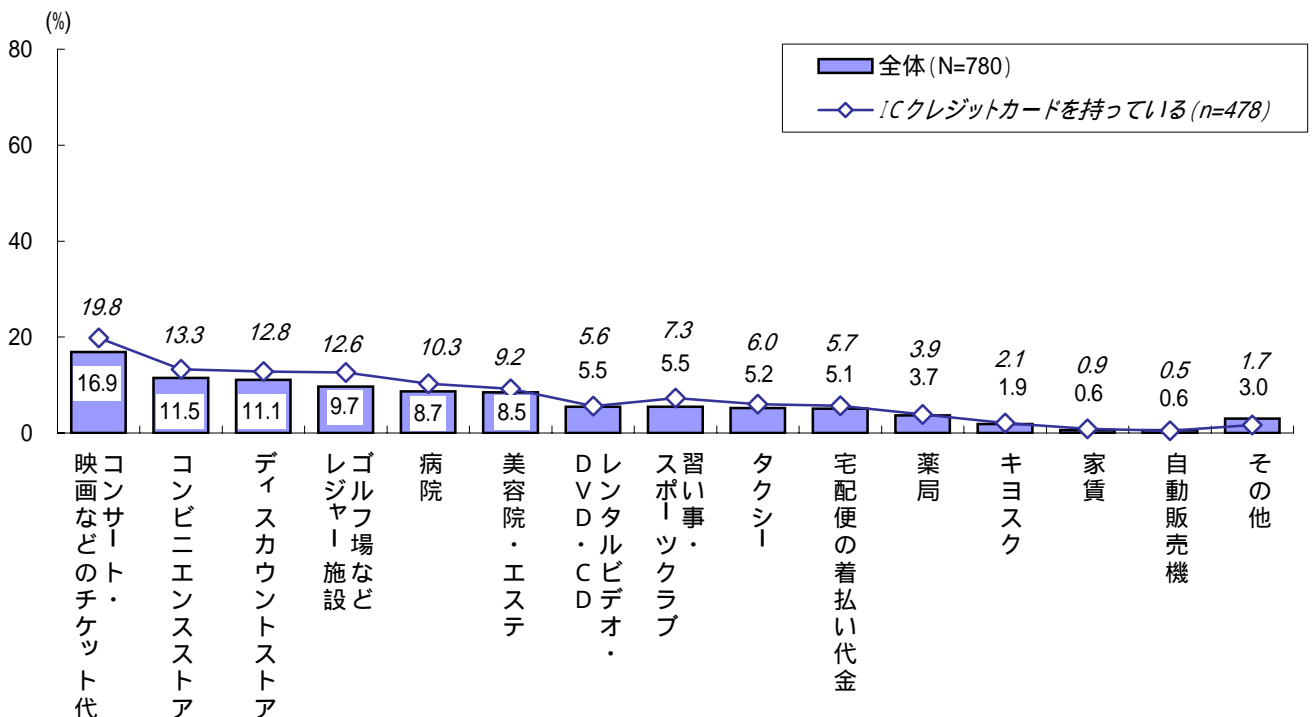
現状のクレジットカードの利用場面・目的についてたずねたところ、全体では「インターネットショッピング」、「デパート」がともに6割を超え、他の利用は5割未満。

ICクレジットカード所有者も「インターネットショッピング」(69%)、「デパート」(65%)での利用率が高い。ICクレジットカード所有者は、一般のクレジットカード所有者を含めた全体に比べクレジットカードの利用場面が広範囲に渡っており、「高速道路料金所」「ガソリンスタンド」での利用は8～9ポイント近く上回っている。

Q7. あなたはどのような場面や目的でクレジットカードを利用しますか。(いくつでも)  
 < 1位～14位 >



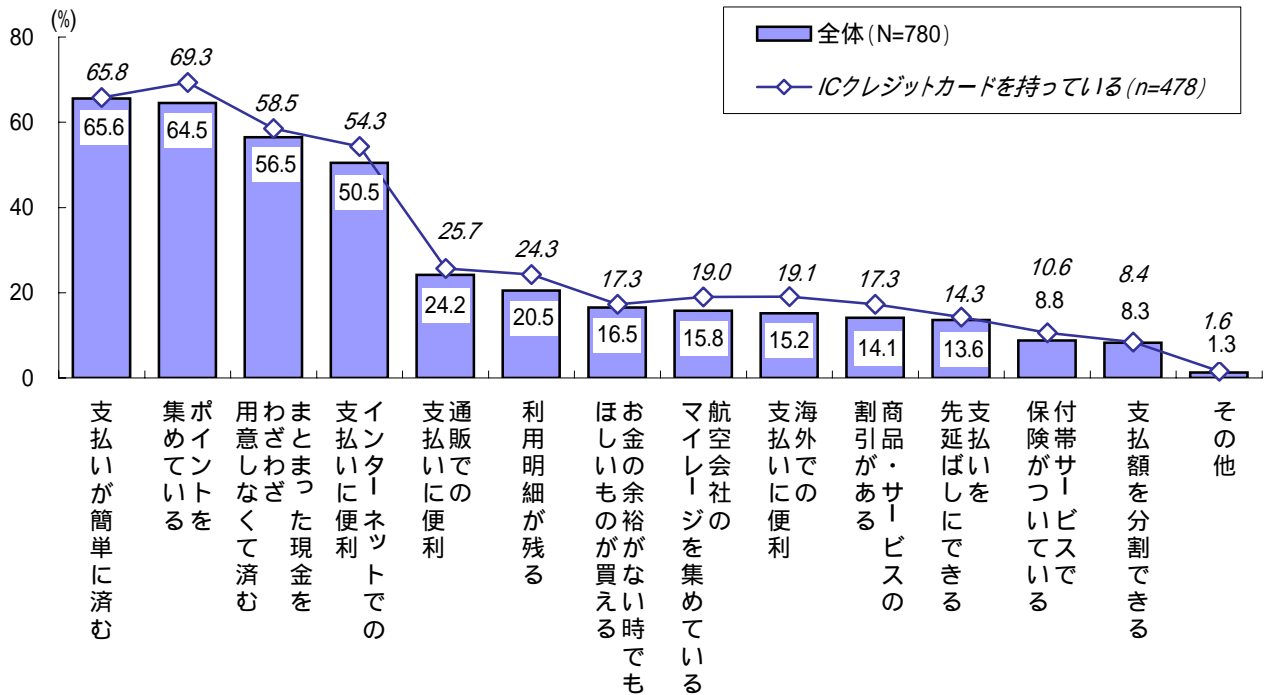
< 15位以下 >



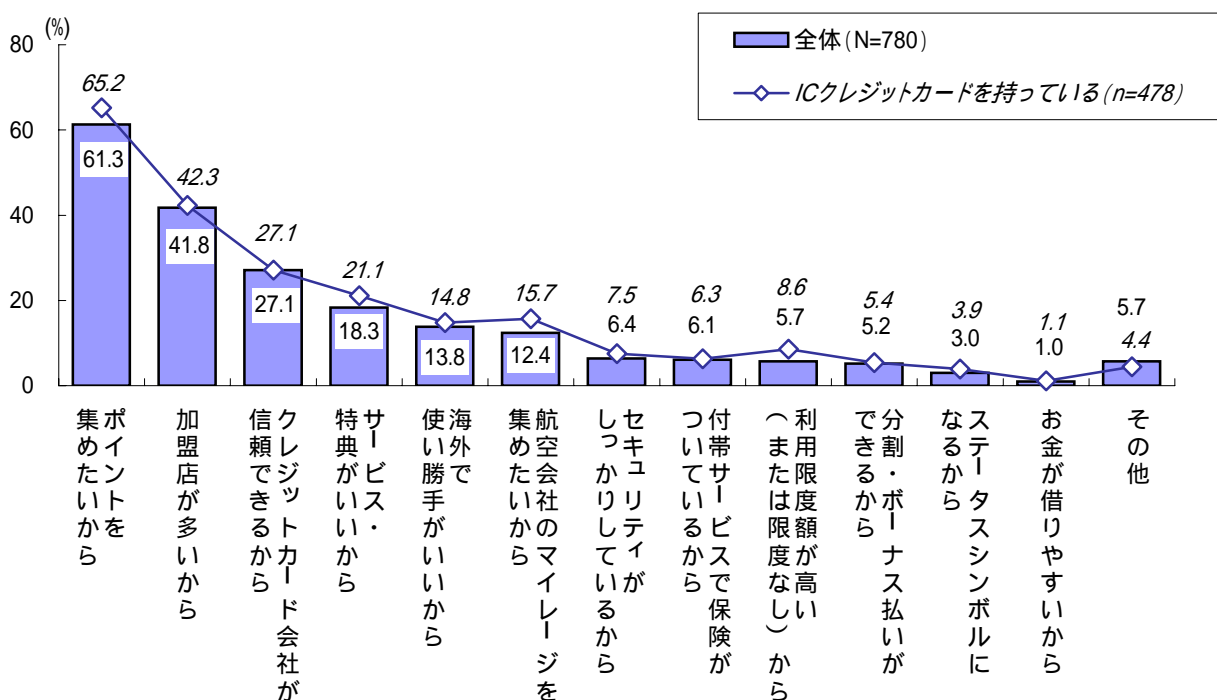
クレジットカードを利用する理由は、全体では「支払いが簡単に済む」(66%)と「ポイントを集めている」(65%)が拮抗し、次いで「まとまった現金をわざわざ用意しなくて済む」(57%)、「インターネットでの支払いに便利」(51%)の順。

ICクレジットカード所有者は「ポイントを集めている」(69%)が最も高く、「支払いが簡単に済む」(66%)を上回る。最も利用するカードの利用理由は、全体、ICクレジットカード所有者とも「ポイントを集めたいから」が6割強で最も高く、ポイント付加がカードの利用促進に貢献していることがわかる。

Q8. あなたがクレジットカードを利用する理由は何ですか。(いくつでも)



Q9. 最もよく利用するクレジットカードについておうかがいします。そのクレジットカードを利用する理由は何ですか。(いくつでも)



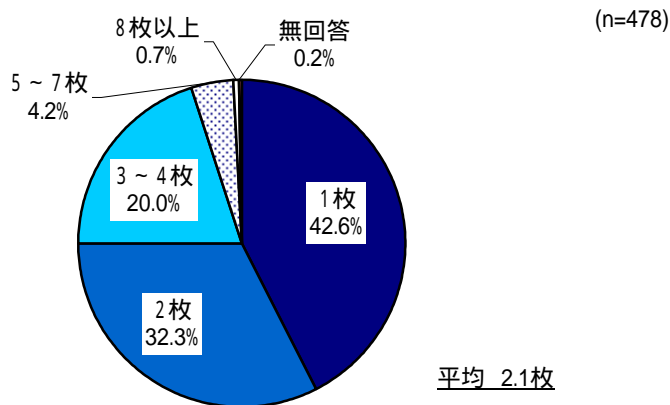


ICクレジットカードの所有枚数をたずねたところ、「1枚」との回答が43%で最も多く、次いで「2枚」(32%)、「3～4枚」(20%)の順。複数枚所有者の割合が6割弱にのぼり、平均所有枚数は2.1枚。

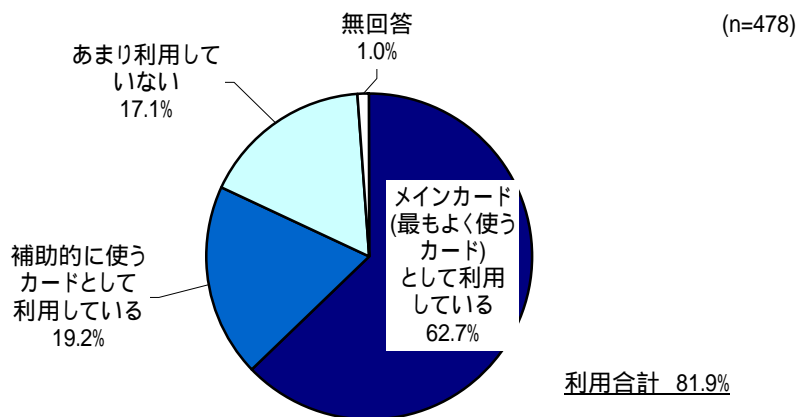
ICクレジットカードの利用状況については、「メインカードとして利用している」人が63%と過半数を占め、「補助的に使うカードとして利用している」(19%)まで含めると、8割以上の人々がICクレジットカードを利用している。

ICクレジットカードを利用できる店舗が身近に「ある」と答えた人は全体の3分の1にとどまり、6割が「分からない」と回答しており、利用できる店舗の認知の促進がのぞまれる。

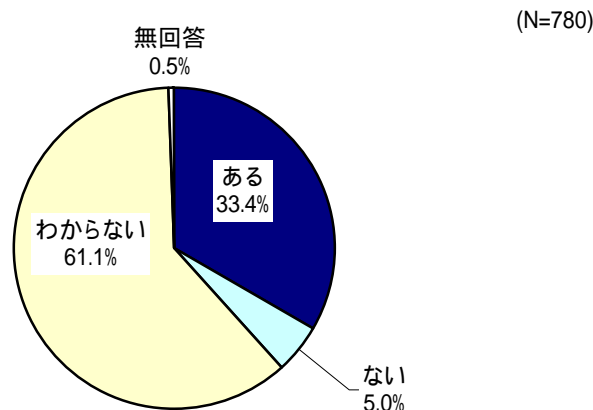
Q15. (Q14で「ICクレジットカード」を「持っている」とお答えの方に)  
「ICクレジットカード」を何枚持っていますか。(ひとつだけ)



Q16. (Q14で「ICクレジットカード」を「持っている」とお答えの方に)  
「ICクレジットカード」を利用していますか。(ひとつだけ)



Q23. ICクレジットカードを利用できるお店は、身近にありますか。(ひとつだけ)



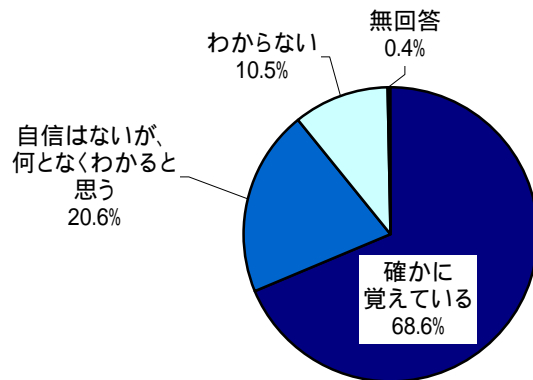
「ICクレジットカードを持っている」と答えた人に、ICクレジットカードの暗証番号を覚えているかたずねたところ、「確かに覚えている」は69%で、「自信はないが、何となく分かると思う」が21%、「分からない」は11%であった。

暗証番号の照会方法を「知っている」人は4割で、「知らない」が6割近くにのぼる。

暗証番号の照会方法が分かっていたら照会をしようと思うかたずねたところ、85%が「照会をしようと思う」と答えており、照会方法の一層の周知がのぞまれる。

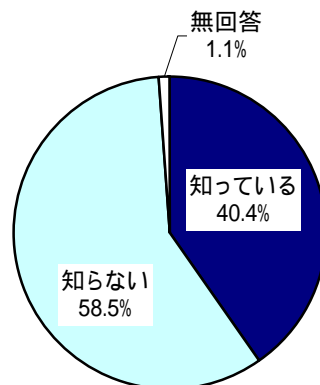
Q17. (Q14で「ICクレジットカード」を「持っている」とお答えの方に)  
お持ちの「ICクレジットカード」の暗証番号を覚えていますか。(ひとつだけ)

(n=478)



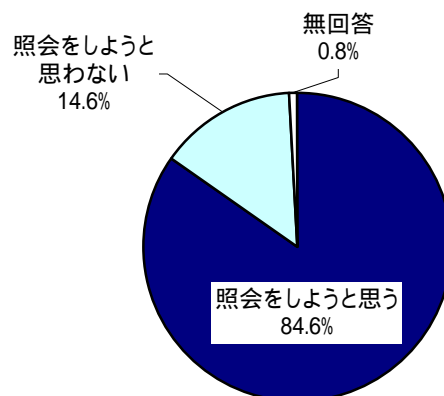
Q18. (Q14で「ICクレジットカード」を「持っている」とお答えの方に)  
暗証番号が分からなくなった場合の照会方法をご存知ですか。(ひとつだけ)

(n=478)



Q19. (Q14で「ICクレジットカード」を「持っている」とお答えの方に)  
暗証番号が分からなくなった場合、照会方法が分かっていたら照会をしようと思いませんか。(ひとつだけ)

(n=478)



ICクレジットカード所有者のうち、店頭で支払いの際に暗証番号の入力を求められたことが「ある」人は60%で、前回(58%)と傾向の差はない。

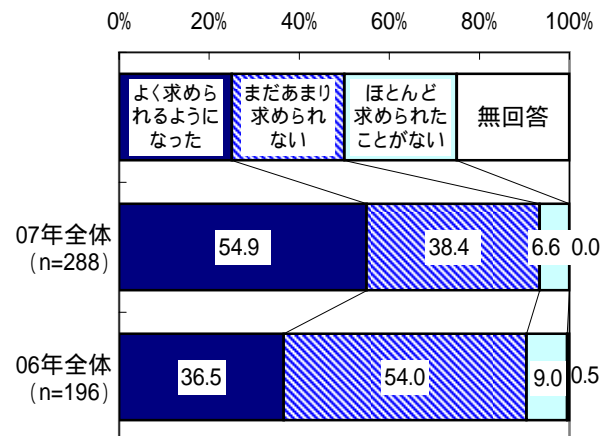
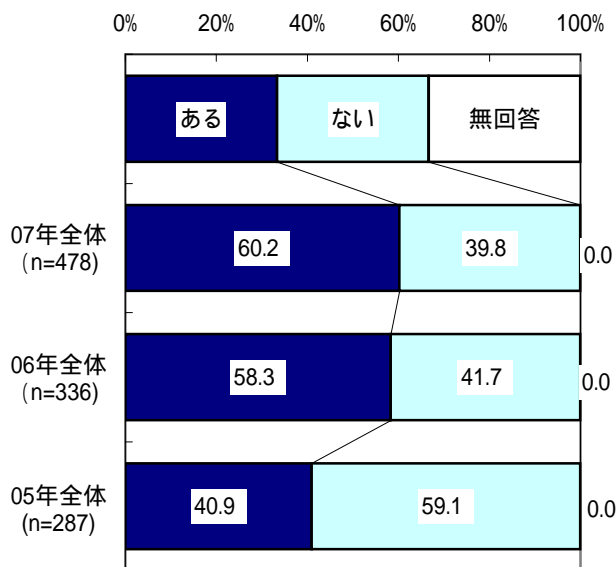
暗証番号の入力を求められる頻度については、55%が「よく求められるようになった」と回答し、前年より18ポイント上昇。

暗証番号を求められた際には、「暗証番号を入力した」が8割強で、「サインで済ませた」は2割弱。

暗証番号を入力しなかった理由は、「暗証番号がわからなかったから」が63%と最も多く、次いで「サインでもいいと言われたから」(38%)の順。

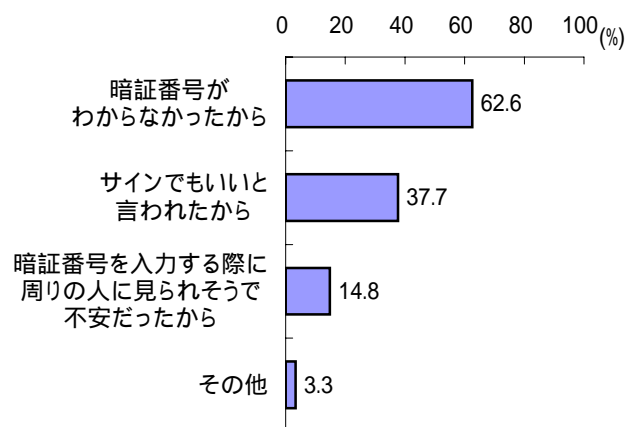
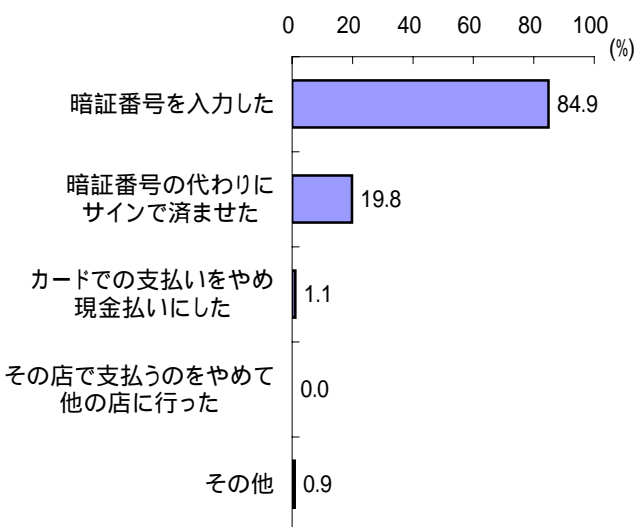
Q20.(Q14で「持っている」とお答えの方に)  
店頭で「ICクレジットカード」での支払いの際、暗証番号の入力を求められたことがありますか。(ひとつだけ)

Q20SQ1.(Q20で「ある」とお答えの方に)  
店頭で「ICクレジットカード」での支払いの際、暗証番号の入力をよく求められますか。(ひとつだけ)



Q20SQ2.(Q20で「ある」とお答えの方に)  
暗証番号を求められた際にどう対応しましたか。(いくつでも)  
(n=288)

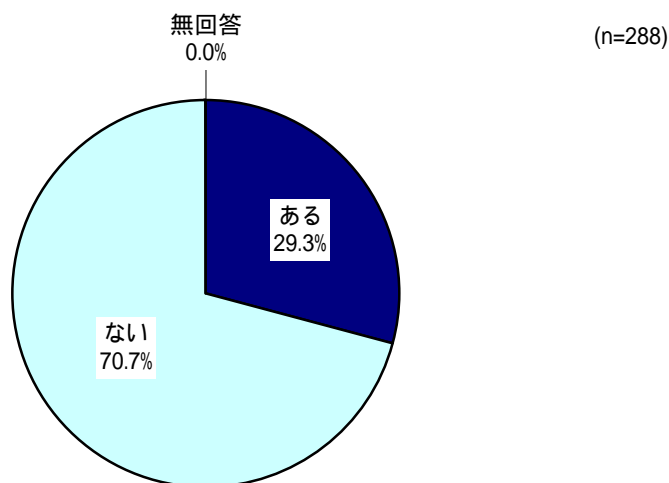
Q20SQ2SSQ1.(Q20SQ2で「暗証番号の代わりにサインで済ませた」「クレジットカードでの支払いをやめて、現金払いにした」「その店で支払うのをやめて、他の店に行った」とお答えの方に)  
暗証番号を入力しなかったのはなぜですか。(いくつでも)  
(n=59)



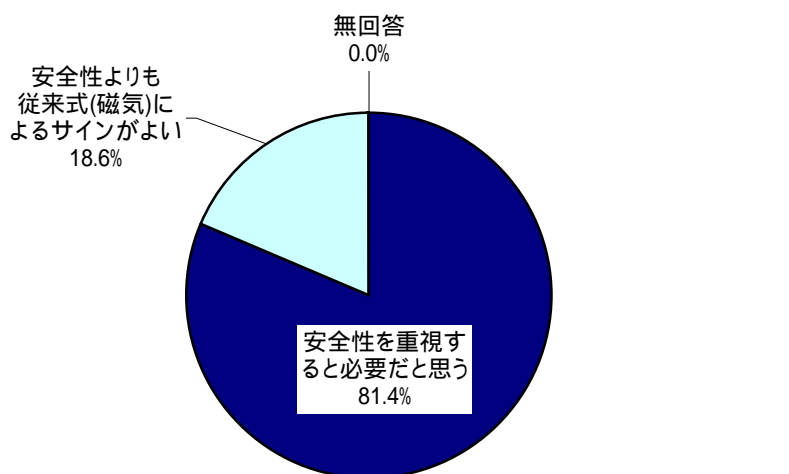
「暗証番号の入力を求められたことがある」と答えた人のうち、入力を面倒だと感じたことが「ない」は約7割を占めるが、一方「ある」は約3割。

ただし、面倒だと感じたことがある中の8割強が、暗証番号入力を「安全性を重視すると必要だと思う」と回答しており、安全性に対する意識の高さがうかがえる。

Q20SQ3. (Q20で「ある」とお答えの方に)店頭で「ICクレジットカード」での支払いの際、暗証番号の入力を面倒だと感じたことはありますか。(ひとつだけ)



Q20SQ3SSQ2. (Q20SQ3で「ある」とお答えの方に)店頭で「ICクレジットカード」での支払いの際、暗証番号の入力は必要だと思いますか。(ひとつだけ)



今後、デパートの食料品売場・スーパーなどでも暗証番号の入力が必要になった場合、ICクレジットカードを引き続き利用するかをたずねたところ、「利用したいと思う」が38%で、「どちらかといえば利用したいと思う」(40%)を合わせると78%が利用意向を示す。

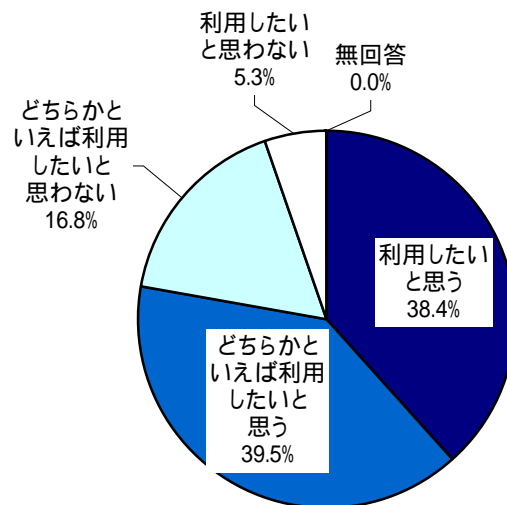
「どちらかといえば利用したいと思わない」「利用したいと思わない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「暗証番号を入力する際に周りの人に見られそうだから」「支払いに時間がかかるから」がともに44%で上位に並んだ。

暗証番号入力機の改善点については、全体の5割強が「周囲の人から見えないようカバーを大きくする」をあげた。

Q28. 現在、百貨店の食料品売場・スーパーなどでは、クレジットカードでの支払の際にサインがいらぬ場合があります。今後、ICクレジットカードを利用する際に、セキュリティの観点からデパートの食料品売場・スーパーなどでも暗証番号の入力が必要になった場合、引き続きクレジットカードを利用したいと思いますか。

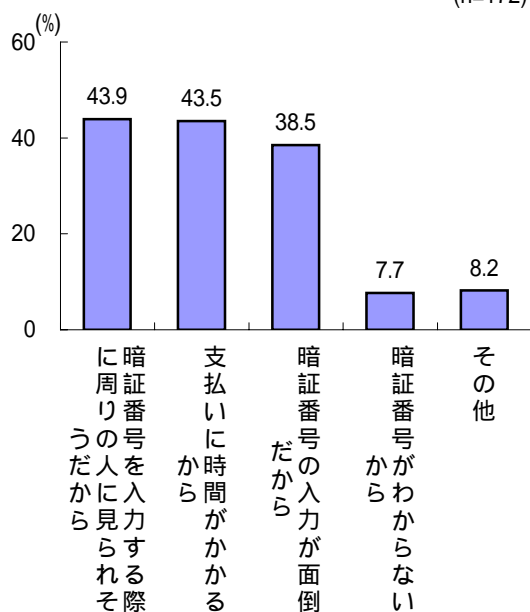
(ひとつだけ)

(N=780)



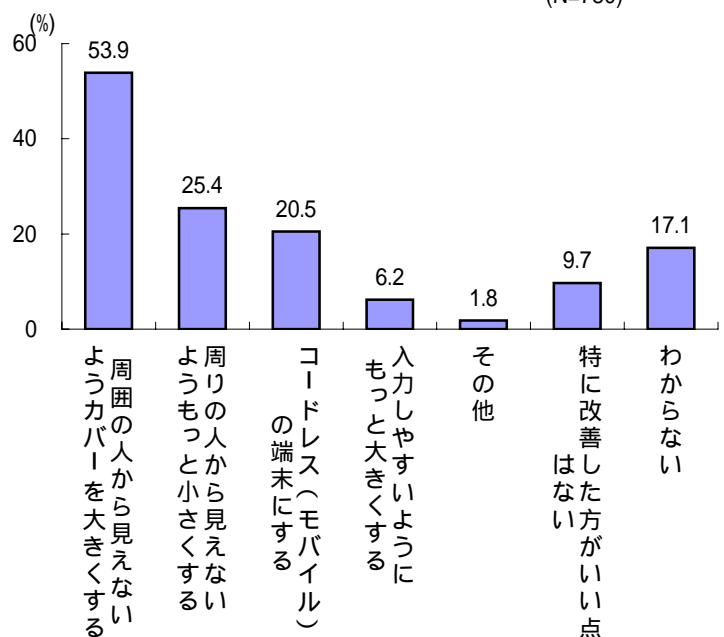
Q28SQ1. (Q28で「どちらかといえば利用したいと思わない」「利用したいと思わない」とお答えの方に)利用したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

(n=172)



Q24.暗証番号入力機について、どこを改善した方がいいと思いますか。(いくつでも)

(N=780)



# ICクレジットカードの利用意向

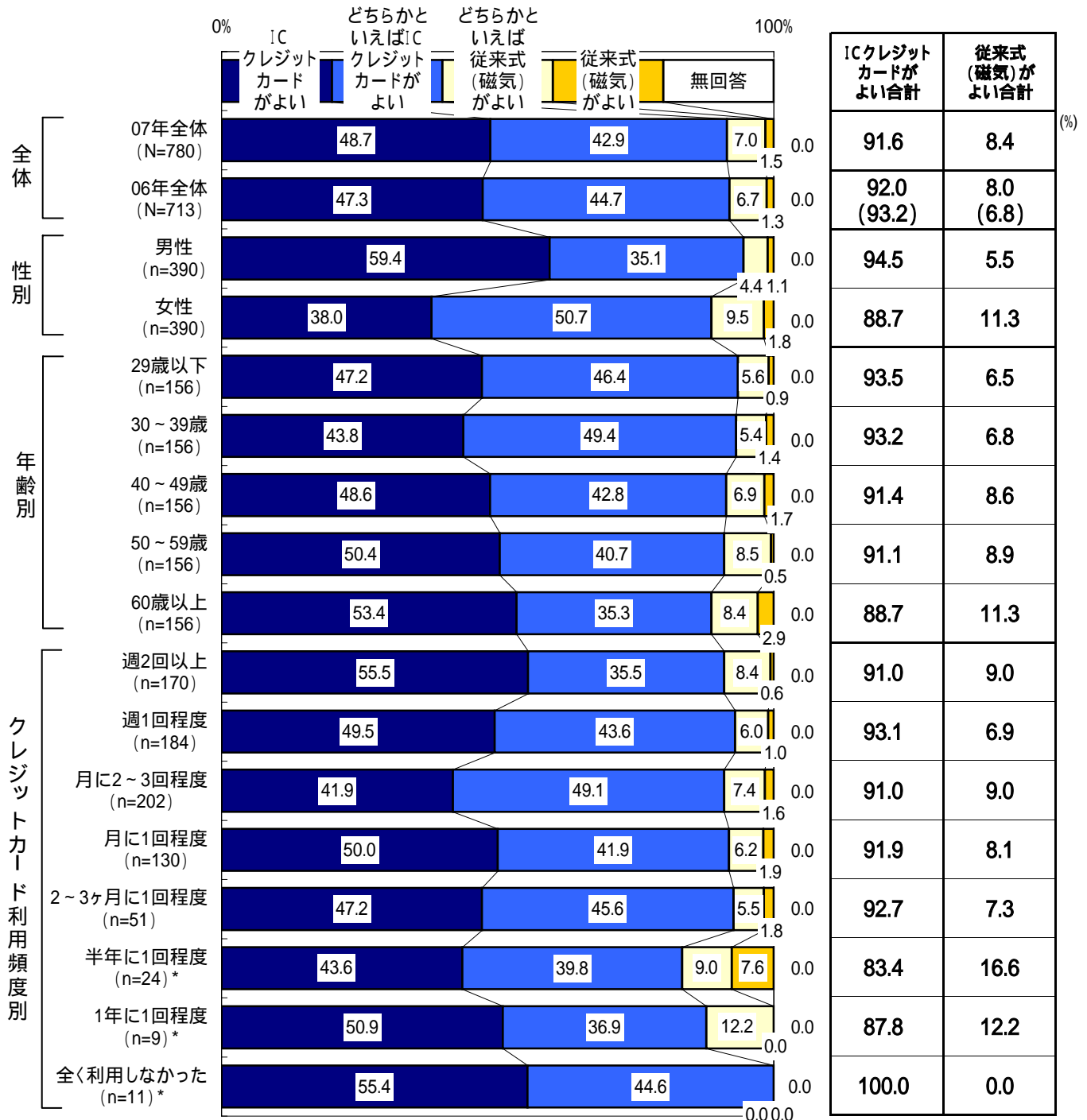
## 1. 今後のクレジットカードの利用意向

今後のクレジットカードの利用意向では、前回と同様に全体の9割強がICクレジットカードの支持層(ICクレジットカードがよい+どちらかといえばICクレジットカードがよい)といえる。

性別では男性のICクレジットカード支持層は95%で女性よりやや高く、また「ICクレジットカードがよい」だけで見ると男性は59%で女性(38%)を21ポイントと大きく上回る。

年齢別、クレジットカード利用頻度別では、いずれも9割がICクレジットカード支持層で顕著な差はみられない。

Q22. あなたは、今後クレジットカードを使うとしたらどちらがよいと思いますか。(ひとつだけ)



06年下段( )内は05年のスコア

前々回(05年)調査は、「ICクレジットカードがよい」「従来式(磁気)がよい」で測定

\* サンプルが少ないため、参考値

# ICクレジットカードの利用意向

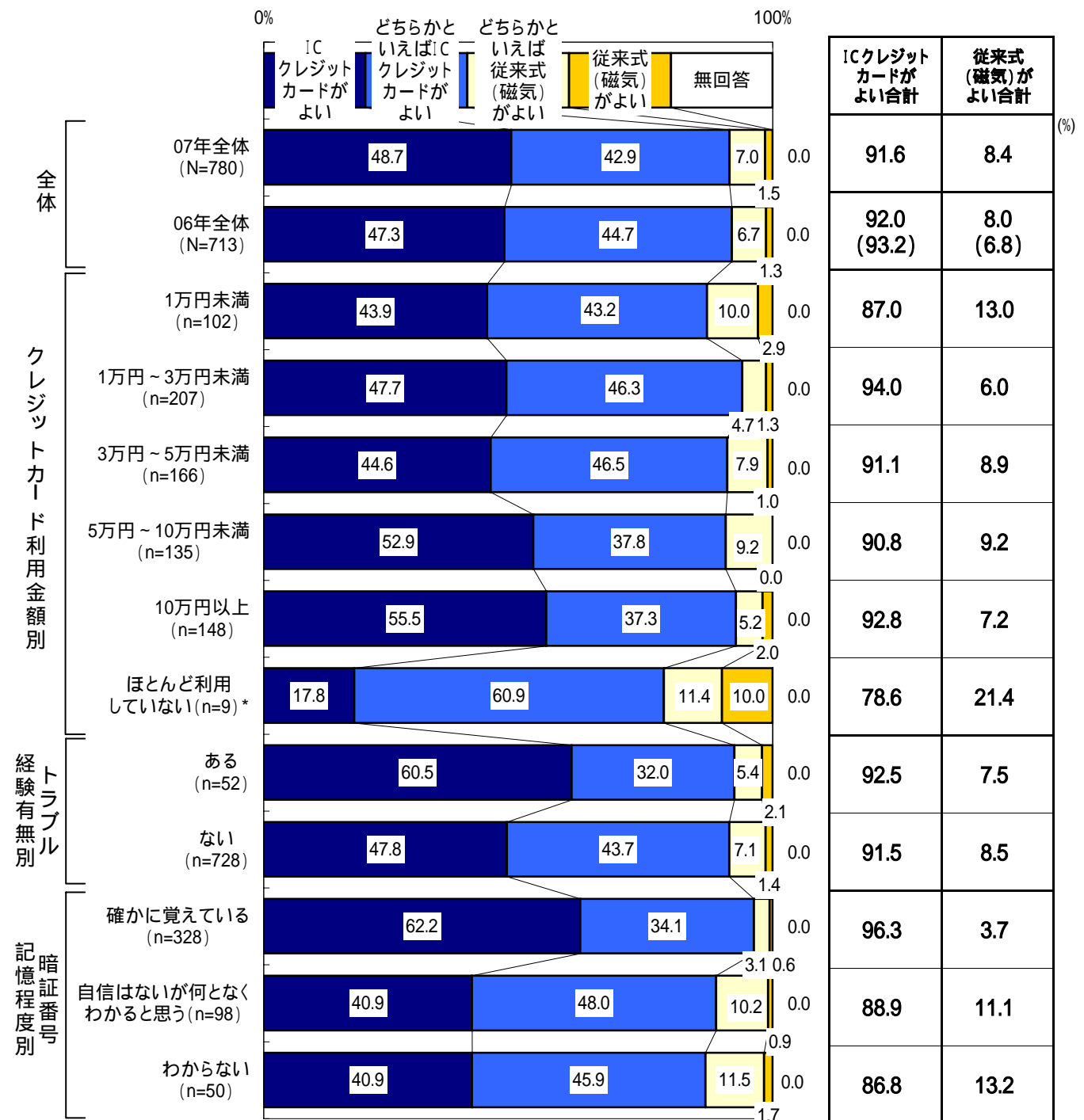
## 1. 今後のクレジットカードの利用意向

クレジットカード利用金額別に今後のクレジットカード利用意向をみると、ICクレジット支持層はいずれも約9割だが、特に5万円以上の利用層では「ICクレジットカードがよい」が5割強と高い。

トラブル経験有無別では、トラブルの経験がある層の6割が「ICクレジットカードがよい」と回答し、経験がない層を10ポイント以上上回っている。トラブル回避の観点からもICクレジットカードの評価が高いことがうかがえる。

暗証番号記憶程度別では、確かに覚えている層の6割強が「ICクレジットカードがよい」とし、自信はないが何となくわかつてと思う、わからないといった層を20ポイント以上上回る。

Q22. あなたは、今後クレジットカードを使うとしたらどちらがよいと思いますか。(ひとつだけ)



06年下段( )内は05年のスコア

前々回(05年)調査は、「ICクレジットカードがよい」「従来式(磁気)がよい」で測定

\* サンプルが少ないため、参考値

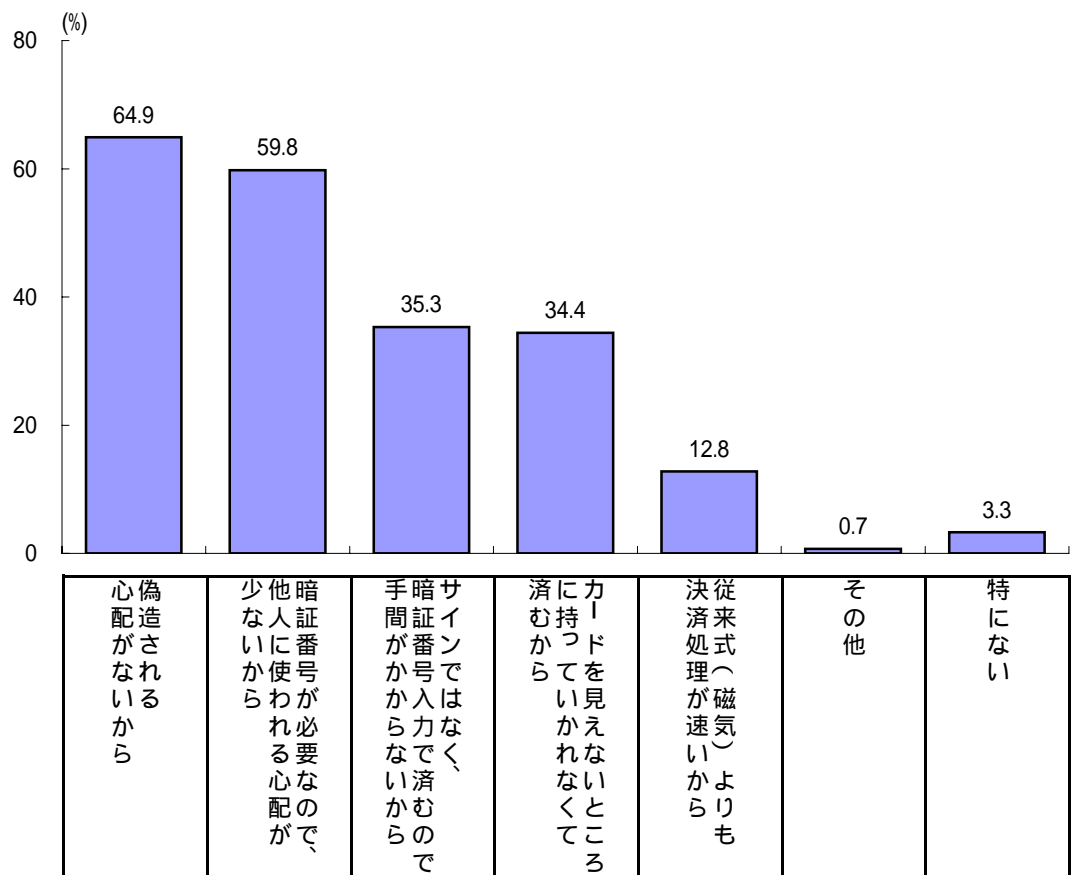
ICクレジットカード利用意向者にその理由をたずねたところ、「偽造される心配がないから」(65%)、「暗証番号が必要なので、他人に使われる心配が少ないから」(60%)が上位で、次いで「サインではなく、暗証番号入力で済むので手間がかからないから」「カードを見えないところに持っていかれなくて済むから」が3割台で続く。

性別で大きな差はないが、「カードを見えないところに持っていかれなくて済むから」は女性が4割と高く、男性を10ポイント上回る。

年齢別では、60歳以上の層で全般にスコアが高く、「暗証番号が必要なので他人に使われる心配が少ないから」「カードを見えないところに持っていかれなくて済むから」はともに全体を10ポイント近く上回っている。

Q22SQ1. (Q22で「ICクレジットカードがよい」「どちらかといえばICクレジットカードがよい」とお答えの方に) ICクレジットカードがよいとお考えの理由は何ですか。(いくつでも)

(n=714)



性別	男性	(n=368)	65.2	58.8	34.8	29.5	13.2	0.7	3.6
	女性	(n=346)	64.6	61.0	35.8	39.5	12.4	0.7	3.1
年齢別	29歳以下	(n=146)	67.4	54.1	30.7	27.1	7.3	0.9	3.2
	30～39歳	(n=145)	63.1	55.8	30.4	30.5	10.1	0.0	5.1
	40～49歳	(n=143)	60.5	61.2	42.8	33.7	17.3	0.6	3.6
	50～59歳	(n=142)	63.6	60.2	33.3	37.2	15.8	0.5	1.6
	60歳以上	(n=138)	69.9	68.4	39.5	43.9	13.6	1.3	3.2

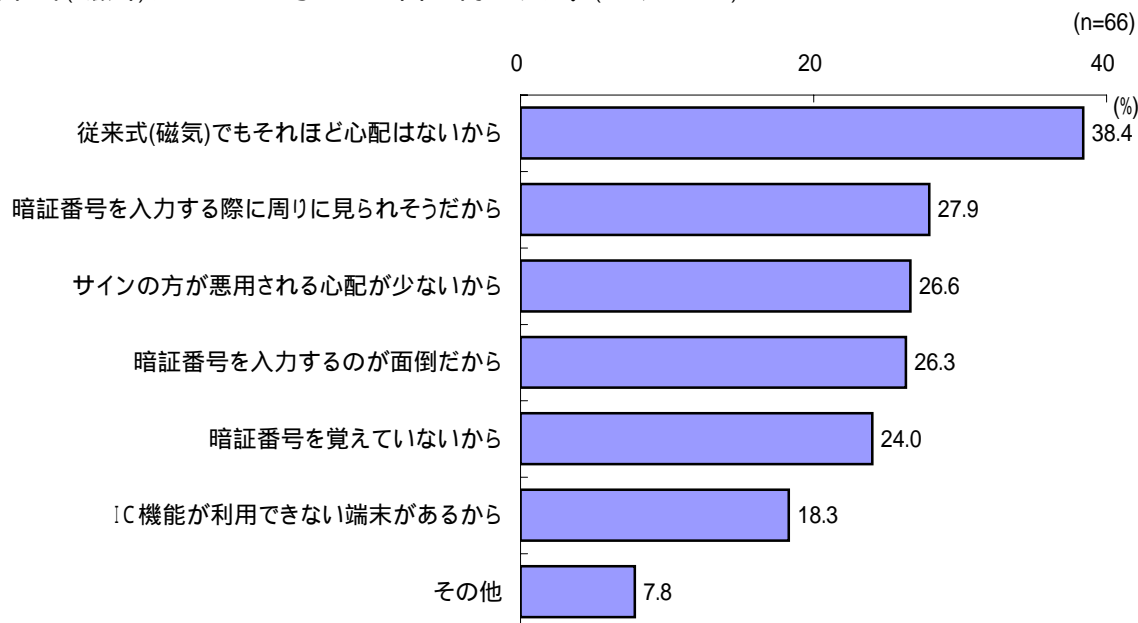
\*全体値より5ポイント以上高いスコアに網掛け



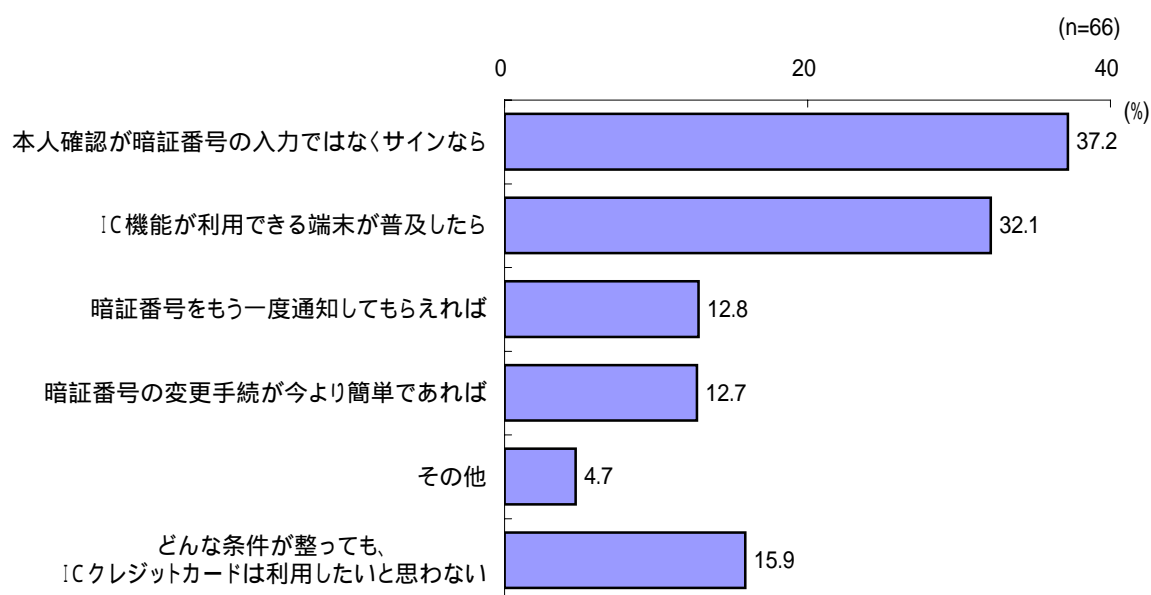
従来式(磁気)クレジットカードを支持する理由としては、「従来式(磁気)でもそれほど心配はないから」が38%と最多で、他の理由を10ポイント以上上回る。

ICクレジットカードの利用条件をたずねたところ、「本人確認が暗証番号の入力ではなくサインなら」(37%)が「IC機能が利用できる端末が普及したら」(32%)を上回っており、端末の普及とともに、暗証番号取引のサイン取引に対する優位性の周知徹底がICクレジットカードの今後の課題といえる。

Q22SQ3. (Q22で「どちらかといえば従来式(磁気)がよい」「従来式(磁気)がよい」とお答えの方に)  
従来式(磁気)がよいとお考えの理由は何ですか。(いくつでも)



Q22SQ4. (Q22で「どちらかといえば従来式(磁気)がよい」「従来式(磁気)がよい」とお答えの方に)  
どんな条件が整えば「ICクレジットカード」を利用したいと思いますか。(いくつでも)

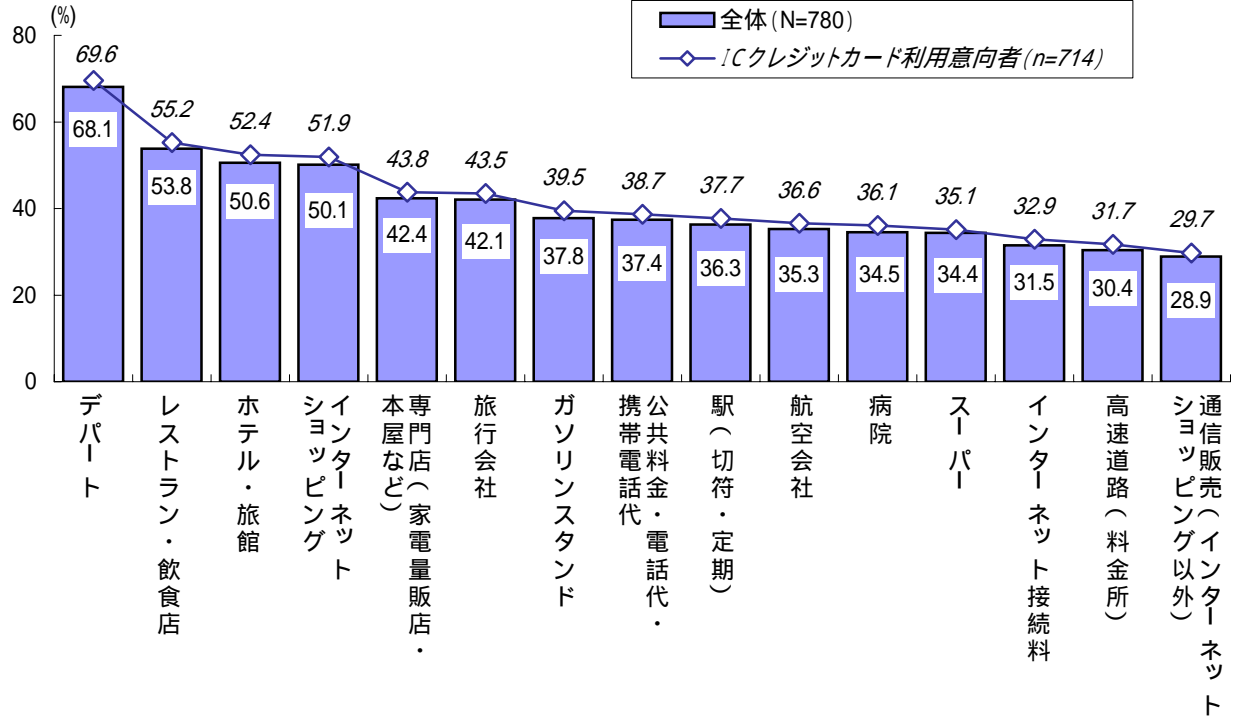


ICクレジットカードの利用意向場面・目的は、全体では「デパート」が68%で最も高く、次いで「レストラン・飲食店」「ホテル・旅館」「インターネットショッピング」が5割を超える。

ICクレジットカード利用意向者においても同様で「デパート」(70%)での利用意向が最も高く、次いで「レストラン・飲食店」(55%)、「ホテル・旅館」「インターネットショッピング」(ともに52%)の順。

Q27. 今後、どのような場面や目的で「ICクレジットカード」を使用したいですか。(いくつでも)

< 1位～15位 >



< 16位以下 >

